

# 松下幸之助 革新の心

## 目次

### 松下幸之助の革新に対する考え方

革新とは、

基本の経営理念を

大切にしつつも、

刻々変化する時代性に

生かしていくということ

4

第六条 衆知を集める

自分一人の知恵には限りがある。特にこれまでにない新たな方法、行き方を見いだそうとするならばなおのこと、衆知が欠かせない。

20

第七条 大きな目標を掲げる

概して人は、手近な目標だと小手先で解決しようとしがち。小手先では通じぬ大きな目標を掲げてこそ、抜本的な革新も図られる。

22

第八条 できない<sup>レ</sup>ではできない<sup>レ</sup>

何事もやる前から<sup>レ</sup>できない<sup>レ</sup>と考えたのでは、できることもできなくなってしまう。まず、必ずできると心の底から強く信じたい。

24

「革新の心得十カ条」を読み解く

松下幸之助

9

第一条 やり方は無限にある

販売つでも、成功する方法はつではない。やり方は無限である。あきらめることなく、他に方法はないかと考え、求め続けたい。

26

第九条 勇気を持つ

大きな変革には痛みがともなう。おびえずひるまず、伝統を大切にしつつも、変えるべきは大胆に変える勇気を持ちたい。

28

第二条 危機を認識する

危機がないのではない。危機を発見する努力を怠っているのだ。どのような組織にも危機は必ず忍び寄っている。

28

第十条 最善の上にも最善がある

昨日の最善は今日の最善ではない。現状にあぐらをかかず、日に新たなもの見方、取り組みを心がけたい。

30

第三条 感謝し

徹底した反省を行なう

画期的な発明、発見、創造は、感謝と反省のなかから生まれてくる。与えられた使命、仕事に感謝し、徹底した反省を行ないたい。

14

第四条 困難は革新の端緒

うまくいっているときはなかなか革新できない。困難であればこそ、気持ちも引き締められれば知恵も出て、果敢な挑戦も可能となる。

16

松下幸之助があるべき姿とした行き方  
心は「自由自在」

第五条 白紙に戻して考える

これまでの知識や常識、成功した体験にとらわれていたのでは、新しい行き方を見いだせない。とらわれを抜け出し白紙で考えよう。

18

表紙デザイン ● 村田良平  
本文デザイン ● 村田良平 / 合力佐智子  
写真提供 ● パナソニック株式会社

松下幸之助の表記は、「松下幸之助」または「松下」といたしました。また、松下電器（現パナソニック）の社名は当時のものいたしました。